

141  
新報

# 市民・団体がプレーヤー

## 戦争法「廃止へ」

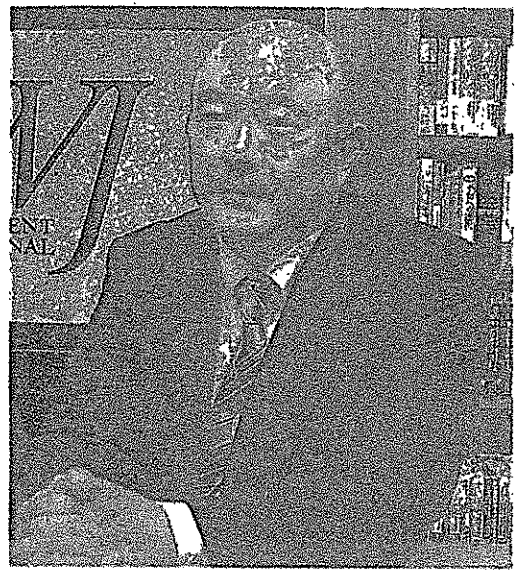
### 今言わなければ

日本共産党の戦争法（安保法制）廃止の「国民連合政府」の提案は、共産党主導といっているわけではありません。政党だけがプレーヤーではなく、個人、市民、団体がプレーヤーだというのは大変大事なポイントだと思います。

#### 集団的ケンカ権

野党が本当に力を合わせないと、来年夏の参院選で32の1人区で自公の

IWJ代表 岩上 安身さん



候補を全部落とすことはできません。安保法制のことが許せる」という話です。

ないか。安倍首相が集団的自衛権の説明にもちだした、たとえ話がありました。アソウ君と道を歩いていたら不良にからまれた。アソウ君に殴りかかった不良をやっつけ

「ケンカ権」「集団的殴りかかるといっただけで、まず、相手に殴りかかるといっただけで、ケンカ権」

いわかみ・やすみ ジャーナリスト。1959年生まれ。東京都出身。出版社編集者、週刊誌記者を経て、87年よりフリージャーナリスト。2010年12月、株式会社インディペンデント・ウェブ・ジャーナル（IWJ）を設立し、代表を務める。

権」といって、不良自主憲法草案は、国民主義かやぐさの論理です。日本国民は不良なんかではありません。正義も全部奪う、すさまじい内容です。

しかも、アソウ君で誰をたどっているかといえれば、米国です。アメリカは、史上最大の軍事金融帝国です。「地球上最大最強のワル」といっている。援護しなければならぬ弱者ではない。

このアメリカといっただけで、野党が負けて「明文改憲」が行われたら、けに、わざわざ夜道をうろつき、地球の裏側までいく」といっただけで、安倍自民党は改憲発議を本気でねらっているのだということ、自民党憲法草案の中身のひどさを国民に広く知らせていくべきだと思います。

#### 明文改憲を狙う

今回クーデターの憲法を解釈で変えた安倍政権が次に狙っているのは、聞き手・写真

明文改憲です。自民党の

原田浩一朗